長浜南小学校からの報告

活動団体名：　長浜南小学校水生生物・実験クラブ

活動人数：　２８人（教員２名）

取組時間：クラブの時間

調査内容

１回目：６月21日（火）五井戸川支流　曇り
２回目：６月28日（火）五井戸川支流　晴れ
３回目：10月25日（火）五井戸川支流　晴れ
４回目：11月８日（火）五井戸川支流　晴れ
５回目：11月15日（火）五井戸川支流　晴れ

水量はさほど多くなく、流れも緩やかなので安全に調査活動ができた。水の匂いはなく、川底は小石や砂で、川岸には植物がはえていました。今年も毎回暑い時期での調査だったので、子どもたちはサンダルで喜んで川に入り、たもやステンレスの金網で水生生物を探しました。見つけた生物を白色のトレイに移し観察しました。子どもたちは、手探りで水草の下や川底を金網ですくい取り、水面に上げたときに何か動くものを見つけると大喜びでした。多くはスジエビやアメリカザリガニ、ドジョウなどでしたが、タイコウチやヤゴなどがとれると指標生物ではありませんが大喜びでした。活動の終わりにタブレットで写真を撮って川に逃がしましたが、時にはタナゴや１０ｃｍ以上の大きなドンコがとれることもあり、学校で飼うことはできないかと逃がすことを残念がる子もいました。

調査員の感想

- 毎回スジエビがとれましたが、五井戸川には、いろいろな種類の水生生物や魚がいることがわかりました。
- 川底をたもや金あみですくったら、あきカンやビンが入ってくることがあり、だれがすてたのだろうと思いました。つかまえた水生生物はクラブの終わりにもう一度川に逃がしましたが、あきカンは学校に持って帰りました。

捕まえた生き物たち

スジエビ、ドジョウ、ドンコ、
アメリカザリガニ、ヤゴ、タイコウチ、
カワニナ、イトミミズ、サカマキガイ、
タナゴ

調査のまとめ

周りが田園の自然豊かな地域なので、毎回水生生物や魚類をつかまえることができました。子どもたちは水に入ることや生き物を捕まえることが好きで、クラブの時間を楽しみにしている子が多かったです。昨年も水生生物に入っている子もおり、その子たちは水生生物の名前にくわしく、新しく入った子どもたちに捕まえるこつや安全に川に入る方法を教える姿も見られました。五井戸川は決して汚れた川ではないですが、サワガニヤカゲロウなどは見つからず、スジエビやドンコなどが中心でした。生き物の生息は、水質だけでなく水量やその川の上流・下流の環境など様々な関りがあるからでしょう。

また、川底からごみが出てくることがあり、子どもたちにとっては環境のことを考える機会になり有意義な時間だったと考えます。

活動の様子

【活動の様子１】

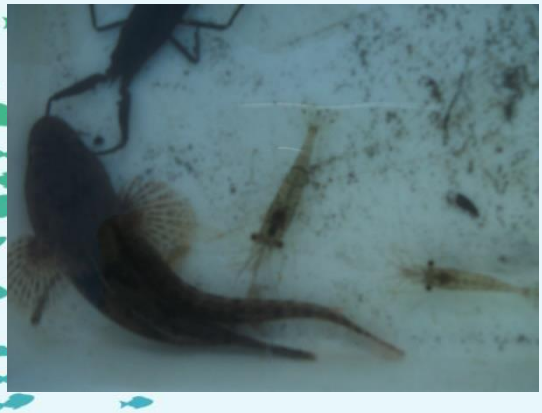
【活動の様子２】

【活動の様子３】

【見つけた生物：モツゴ】

【アメリカザリガニ】

【ドンコとスジエビ】



【タイコウチ】

【カワニナとヤゴ】